

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育の計画と評価		（講義・演習・実習）		青田 由美子	保育士
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（2 単位）	配当学年・時期 2 年・前期		必修・選択 必修	
〔授業の目的・ねらい〕 1. 保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 2. 全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 3. 子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解する。 〔授業全体の内容の概要〕 ・ 保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。 ・ 子どもの主体性を反映した指導計画の作成について具体的に理解する。 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 ・ 保育所においては保育課程に基づいて指導計画を作成し、日々の保育を展開することや、子どもの発達の連続性を意識した生活や保育内容にしていくことを理解する。 ・ 計画、実践、記録、省察、評価、改善の過程について、その全体構造を理解する。					
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 1. 保育の基本について 2. 「教育課程」・「全体的な計画」と指導計画 3. 幼稚園の理解 4. 保育所の理解 5. 指導計画の作成の基本とその方法 6. 幼稚園・保育所の部分指導計画（幼稚園の部分指導計画） 7. 幼稚園・保育所の部分指導計画（保育所の部分指導計画） 8. 乳児、1・2 歳児の特徴と指導計画① 9. 乳児、1・2 歳児の特徴と指導計画② 10. 幼児の特徴と指導計画（3 歳児の特徴と保育） 11. 幼児の特徴と指導計画（4 歳児の特徴と保育） 12. 幼児の特徴と指導計画（5 歳児の特徴と保育） 13. 保育の実践と評価① 14. 保育の実践と評価② 15. 期末試験					
〔使用テキスト・参考文献〕 教育課程・保育の計画と評価－書いて学べる指導計画－（岩崎淳子 他 著／萌文書林）					
〔成績評価の方法と基準〕 教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75％) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25％) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					